アリウム丹頂
Allium aphaerocephalum
（ヒガンバナ科）

観賞用のネギ属の花（葱坊主）の総称がアリウムで，巨大なギガンチウム（*A. giganteum*），白い花のコワニー（*A. cowanii*）と本種の丹頂が流通．現在はヒガンバナ科に分類されている．ヨーロッパ内陸部の原産で，多くは品種名ではなく原種名が用いられる．

丹頂は丹頂鶴のように頭が赤いところから命名．500ほどの小花が直径5cmのラグビーボール状に集まる．直立の茎を若いときに曲げて芸をさせる．水あげはよい．

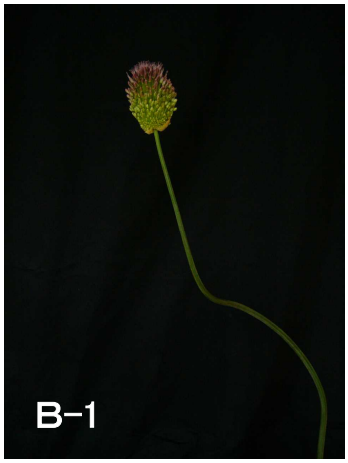
1）品質評価基準

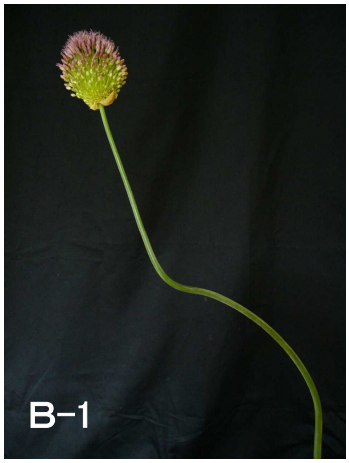
項　目	判 定 基 準	備　考
小花の老化	A：未開花．雄しべ，雌しべが見えない B：雄しべ，雌しべが直立した状態で見える C：雄しべの花糸が倒れる．葯は残っている D：雄しべの花糸が水平に倒れ，ねじれ，萎れる．葯はかなり失われる	各小花の老化は開花の参考とし，日持ちの判定には用いない
開花程度	A：開花した小花がない B：頂部の小花が開花（雄しべ，雌しべが直立：B） C：1/2程度が開花（雄しべの花糸が水平に倒れる：C） D：下部を残してほぼ全小花が開花し，小花はC，Dの状態となる	入荷時は未開花（A）
花序の形	A：縦長ラグビーボール型 B：球に近いラグビーボール型 C：そろばんの玉型 D：三角形	
その他		

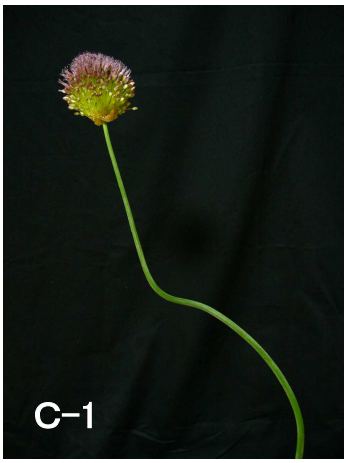
2）留意点

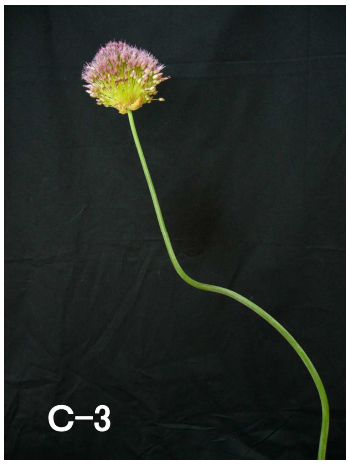
400～500の小花がラグビーボール状の花序を形成．頂花が紫色に着色．
小花の開花と老化は雄しべの状態で判定．
出荷時には花茎だけで葉はついていない．

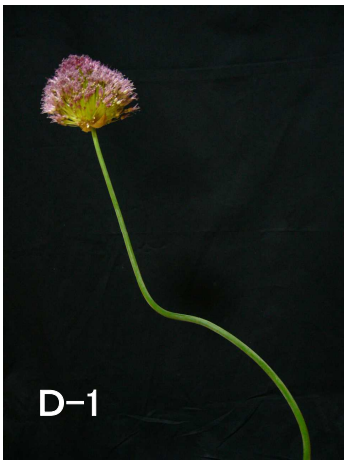
3）開花

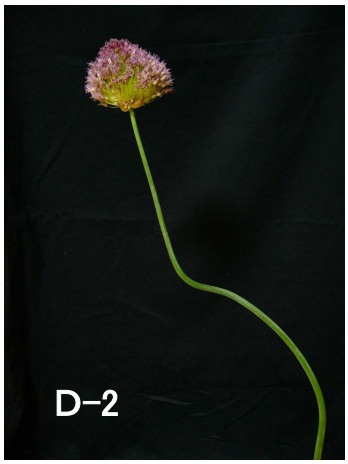


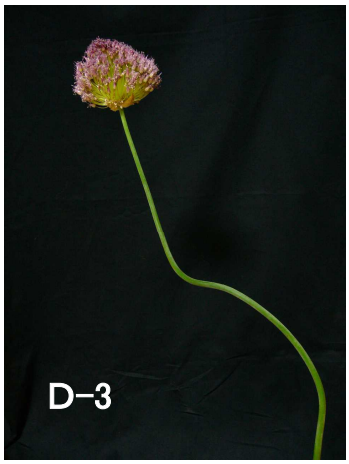






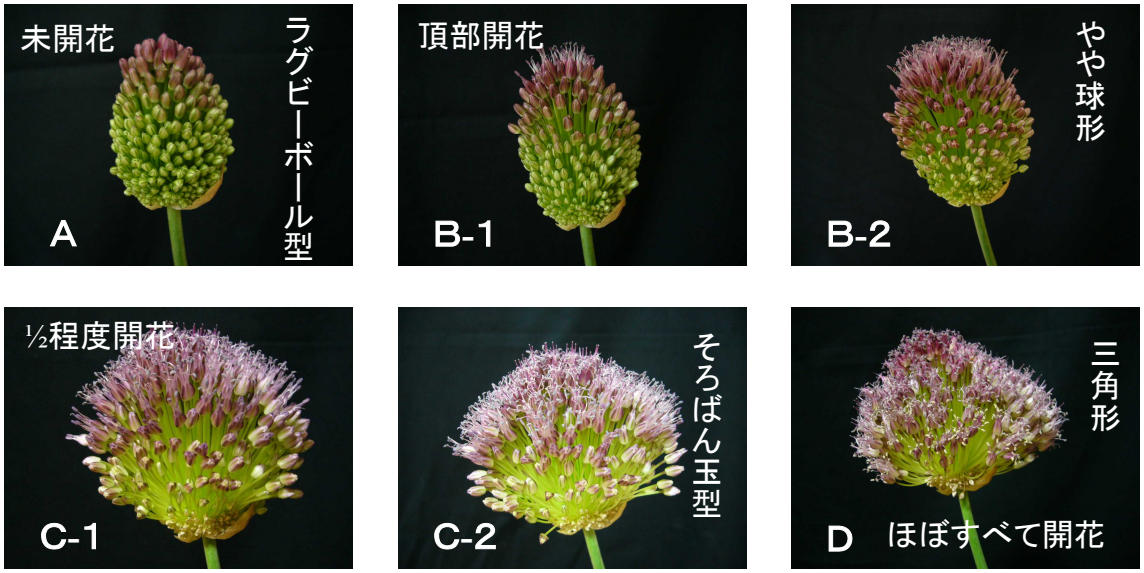
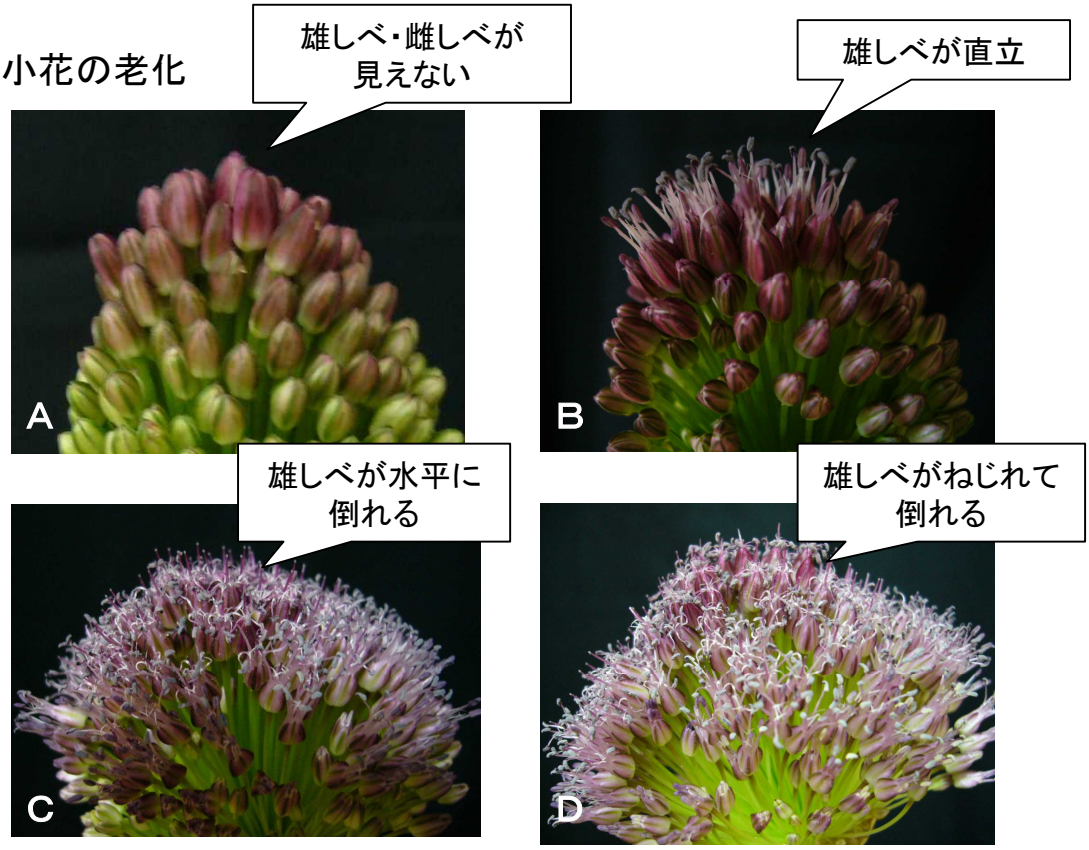






4）チェック事項

開花程度と花房の形



小花の老化